



COLEGIO JAPONÉS DE BARCELONA

令和7（2025）年12月19日
バルセロナ日本人学校 学校だより
「バルセロナ」第417号
HP <https://www.colegiojaponesbcn.org/>

2025年のご協力への感謝と2026年に向けて

校長 永 井 修

バルセロナ日本人学校としての2025年も、もうすぐ幕を閉じます。

本年も、保護者の皆様には、本校の教育活動にご理解とご支援を賜り、また、あたたかい言葉がけをたくさん頂き、ありがとうございました。

今年は、在籍数が前年比で30%以上増加しました。これは、多くのご家庭が「バルセロナという特別な土地で、日本の学びを大切にしたい」と願い、本校に期待をしてくださった結果だと重く捉えています。その思いに応えるため、私たちも改めて学校の魅力と使命を見つめ直すべく、現在、学校評価アンケートを皆様にお願いしているところです。

バルセロナは、カタルーニャ地方の中心地で豊かな文化に触れることができます。街を歩けば、多様な国々の人々がいる中で、たくさんの芸術の息遣い、そして市民のアイデンティティを大切にする気風を感じます。

この地域で生きること自体が、子どもたちに「多様性の中で自分を大切にし、様々な国の文化を尊重する姿勢」を自然に教えてくれています。2月のカルソツツ祭りも、そういう思いから、本校の教育課程に組み込んでいます。



一方で、本校は、日本語による確かな学力、丁寧な生活指導、日本文化に根ざした価値観をしっかりと育む場として、日本にルーツをもつ子どもたちの「もう一つのホーム」となっています。

本校に通うことで得られる日本の高い教育力、質量共に豊かな英語教育環境、カタルーニャの多文化環境に触れる行事、少人数ならではのきめ細やかさ、そして何より「母語としての日本語」を大切にした教育の保障が、本校が安心・信頼される学校として存在するための基盤です。

2026年も、子どもたちが健康で楽しく、また、保護者の皆様が安心してお子様を通わせていただけるよう、学校も前進してまいります。

■終業式の挨拶から（抜粋）

子どもたちには、終業式で次のことをお話ししましたので、抜粋して掲載いたします。

【一休さんのお話から】



商人が孫の誕生を祝う「めでたい言葉」を一休さんに求めたところ、一休さんは

「親死ぬ、子死ぬ、孫死ぬ」と書きました。商人は「死」という言葉に怒りますが、一休さんは「では、順番が逆になる方がよいのですか？」と問い合わせします。そして、「親が年をとって亡くなり、その後に子、さらに孫が寿命を全うする。この順番こそ何よりもめでたいこと。もし逆ならば大きな悲しみになる」と説明しました。

一休さんが伝えたかったことは、『子どもが親よりも先に亡くなるほど悲しいことはなく、子や孫が元気に長生きすることこそ親にとって最大の喜び』ということです。

つまり、「元気に生きてくれること」は何よりも親孝行だという教えです。

どうか2学期頑張った皆さんには、この冬休みも、自分も他人もいたわり、健康に気を付けて元気に親孝行をしてくださいね。

【お詫びと訂正】（餅つき大会連絡）

すでにメールでもお伝えしました通り、水曜会に確認し、幼稚部の子たちを含む幼稚園児は、「未就学児」という括りから福引券を含む6歳以上の入場券は購入ができない、ということでした。（本校の園児への無料の餅引き換え券は配付されます。）

お詫びして訂正いたします。

『11時にドラえもんが森の中で友達を発見した』▼私が担当する小6社会科授業の時間のできごと。その日はテストが全員早く解き終わり中途半端な時間ができたため、余った時間で「国語の勉強」に充てました。「いつどこで誰が何をしたゲーム」です▼主語チーム、目的語チームなど文節に合わせ5つに分け、それぞれが自分の担当の言葉（例：「私が」など）を小さな紙に書き、それをランダムに選んで読み上げる、というもの▼「よい文が出来るかどうかでクラスの団結力が分かるんだ」などと適当な事を言いながら読み上げます。案の定、あり得ない文に笑ってしまう子どもたち。でも、流石はバル日の6年生。よい文が出来ました。それが最初に示した文です▼ギリギリまで必死に勉強しテストに臨んだ子たちでしたが、たまにはこんな時間も大事かな…。

おめでとうございます！「海外子女文芸作品コンクール」入賞者のお知らせ

1学期に行われた海外子女教育振興財団主催「第46回海外子女文芸作品コンクール」に、本校も出品しました。4部門、応募総数31,937点の中から、本校より2名の児童が入賞したのでお知らせいたします。

本日、入賞した2名への表彰伝達を行いました。入賞された児童のみなさん、おめでとうございます。

【入賞者】

詩	佳 作	小2	マジン	タマラさん
詩	佳 作	小2	山 本	智 子さん

中学3年生 幼稚部交流



12月11日(木)、中学部3年生の家庭科の学習の一環として、幼稚部との交流会が行われました。中学部の生徒たちは手作りおもちゃを準備し、園児と一緒に遊んだほか、紙芝居の読み聞かせも行いました。お弁当の時間も共に過ごし、園児一人ひとりに寄り添って関わる生徒の姿がとても頼もしく感じられました。互いに温かい時間を共有できた、貴重な学びの機会となりました。

お知らせとお願い

〈キャリアパスポートをご家庭にお返します〉

これまでの学習活動とのかかわりから子どもたちの記述をまとめ、累積した「キャリアパスポート」を、今学期末も全家庭に再度返却いたします。2学期を含めた学校でのお子様の取り組みについて内容をご覧いただき、家庭内でも話題にしていただければと思います。

「キャリア教育」は、社会的自立・職業的自立に向けて必要な意欲、態度や能力の育成を最終的に目指しています。単なる職業教育にとどまらず、自分について見つめ直し、他者や周りの環境に興味関心を深めながら、よりよい生き方を追求できる子どもたちを育てられるよう、バルセロナだからできる教育環境を生かし、今後も進めていきます。

回収につきましては、担任の指示に従っていただきますよう何卒宜しくお願ひいたします。

〈欠席等の連絡について〉(再掲)

欠席や遅刻、早退等の連絡につきましては、最近担任のみへの連絡という場合がありますので、必ず当日8:00までに①「担任のメールアドレス」と②「学校代表アドレス」info.c@colegiojaponesbcn.orgの両方へご連絡ください。

子どもたちの健康・安全の確保に3学期も最後まで努めてまいります。お手数をおかけしますが、ご協力をお願いします。

よいお年をお迎えください。3学期もどうぞよろしくお願ひいたします。

